

## ■一般目標 (GIO)

歯科技工士としての基盤を形成するとともに、歯科医療技術者としての自覚と人格形成のための知識と技術を学ぶ。また、臨床の需要に応えられるだけの技術の研鑽と探究、歯科医師からの高度な指示、情報提供に対する理解力および新技術の知識を身につける。

## ■到達目標 (SBOs)

- ・歯科技工の品質管理を説明できる。
- ・歯科技工所の経営を説明できる。
- ・補綴装置の種類と特徴を説明できる。
- ・歯科技工指示書の記載項目を列挙できる。
- ・生体補綴と顎顔面補綴における歯科技工を説明できる。
- ・エックス線写真から得られる情報が理解できる。

■教科書：(教1)最新歯科技工士教本 歯科技工管理学 (医歯薬出版)  
(教2)最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)

■参考資料：プリント配付

■授業時間：水曜日 18:50～19:35

■オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 水曜日・17:00～17:45

■成績評価：定期試験 (90%)、平常試験 (10%) で評価する。

■注意事項：講義時間に教科書と配付プリントを持参すること。

■授業方法：講義形式

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：市川 裕美ほか：歯科技工士としての臨床経験をもとに、本教科で学ぶ内容や理論、手技を補綴装置の製作にどう生かすかを、歯科技工士の立場からわかりやすく丁寧に教えていく。

■関連教科：基礎歯科技工学 (1年)

■アクティブラーニング：グループワーク、ディスカッション

## ■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 4月7日 市川 裕美	1. 歯科技工関係団体 (教1) p. 22 2. 歯科治療における社会 保険診療報酬 (教1) p. 30	・歯科技工関係団体の役割が理解できる。 ・歯科診療における社会保険診療報酬が説明 できる。
第2回 4月14日 市川 裕美	3. 歯科技工の品質管理に 関する法令、通知 (教1) pp. 81, 82	・歯科技工の品質管理を説明できる。 ・歯科材料、危機に関する法律が説明できる。
第3回 4月21日 市川 裕美	4. 補綴装置のトレーサビ リティ (教1) p. 80	・補綴装置のトレーサビリティが説明でき る。
第4回 4月28日 木村 健二	5. 歯科技工所の経営 (1) (教1) pp. 77-80	・歯科技工所の経営を理解できる。
第5回 5月12日 木村 健二	6. 歯科技工の品質管理・ 品質保証 (教1) pp. 77-80	・歯科技工所の経営を説明できる。 ・歯科臨床における新しい加工技術が理解で きる。 ・現在の歯科技工とこれからの歯科技工士の 役割について学ぶことができる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第6回 5月19日 市川 裕美	7. 歯科臨床と歯科技工士 (教1) pp. 53-68	・補綴装置の種類と特徴を説明できる。
第7回 5月26日 市川 裕美	8. 歯科技工指示書の見方 (教2) pp. 51-56	・歯科技工指示書の記載項目を列挙できる。
第8回 6月2日 野本 秀材	9. 歯科臨床と歯科技工士 (教1) pp. 53-68	・CAD/CAM システムにより製作された補綴装置の利点を知ることができる。 ・補綴装置の種類と特徴を説明できる。 ・現在の歯科技工とこれからの歯科技工士の役割について学ぶことができる。
第9回 6月9日 大山 哲夫	10. 生体補綴における歯科技工 (教2) pp. 160-169	・顎関節症と歯科技工の関わりを説明できる。 ・睡眠時無呼吸症候群治療用の口腔内装置について説明できる。 ・摂食機能療法に用いられる補綴装置について説明できる。
第10回 6月16日 大山 哲夫	11. 顎顔面補綴における歯科技工 (教2) pp. 176-181	・口腔外科疾患の治療後に適用する装置の特徴を説明できる。 ・顎義歯, スピーチエイドの製作方法および使用目的が説明できる。
第11回 6月23日 市川 裕美	12. エックス線から得られる情報 (教2) pp. 58, 59	・エックス線写真から得られる情報が理解できる。
第12回 6月30日 市川 裕美	13. 印象, 模型, 補綴装置などの消毒 (教2) pp. 43-50	・補印象体, 模型および補綴装置の消毒方法が説明できる。
第13回 7月7日 中村 悠介	14. 歯科技工業務の運営 (教1) p. 77	・歯科技工業務の運営が理解できる。 ・歯科診療における歯科技工の役割を説明できる。
第14回 7月14日 中村 悠介	15. 歯科技工の現状(2) (教1) p. 26	・歯科診療における歯科技工の役割を説明できる。 ・歯科臨床における新しい加工技術が理解できる。 ・現在の歯科技工とこれからの歯科技工士の役割について学ぶことができる。
第15回 7月21日 市川 裕美	前期のまとめ 「平常試験」, 解説	・前期の講義内容を総覧し, 基礎科学について理解を深めることができる。